

きん じょう てん か

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
9月13日発行 NO.15
文責 出崎 友英

親切の反射と広がり

先日、体育館のトイレのスリッパをそろえている生徒を見かけました。私が「お、ありがとう！」と声をかけたら、びっくりにした表情を浮かべていました。その姿を見て、以前に読んだことのある熊本市の中学生栗山ありささんの「親切の反射と広がり」という題の作文を思い出しました。

今回は、その作文を皆さんに紹介します。

我が家にはちょっとした自慢がある。それは、「いつも玄関の靴がそろっている」ということだ。「いつも靴がそろっている」その理由は、私たち家族の行動と家のつくりにある。我が家の玄関を入ると、そこには廊下があり、この廊下は家のほぼすべての部屋に繋がっている。だから、トイレや洗面所などに行くとき、この廊下を必ず通ることになる。廊下を通るといことは、玄関を通ることだ。そして私たち家族は、廊下いわゆる玄関を通るとき、靴がそろっていないと、手が靴に伸び、そろえるのだ。

だが、この習慣は自然とできるようになったわけではない。あるきっかけがあつてのことなのだ。そのきっかけは、祖母が関係している。祖母の家に泊まって、帰るときのことだ。挨拶をして、荷物を持ち、帰ろうとしたとき、私の目に飛び込んできたものがあつた。

それはきちんとそろえてある私の靴だった。見ただけで、すっきりとすがすがしい気持ちになつた。ア

そして私は祖母に、「靴、ありがとう。」と言つた。祖母は「まあ、うれしいねえ。でも、次は注意するんだよ。」と言ってくれた。

祖母がしてくれた親切をうれしく思った私のたつた何気ない一言が、今度は祖母をうれしくさせたのだ。まるで親切がもたらす「うれしさ」が、私から祖母へと反射したみたいだ。

「情けは人の為ならず」とはまさにこのことだ。この親切の反射がうれしかった私は、さっそく祖母の真似をして靴をそろえることにした。

家の玄関を通るときには必ず靴をチェックして、そろえる。これを続けた。

すると、家族にも変化が表れ、靴をそろえてくれるようになったのだ。親切

は、人から人へと広がる。

私はまだ、玄関の靴しかそろえていない。

だが近いうちに、見つけたあらゆる靴をそろえずにはいられない、というような人になりたいと思つている。

靴をそろえるというのは、とても小さな活動だが、親切は反射し、人から人へと広がる。

だから自分もうれしくなる。一人の活動が後に何百人の活動になる。つまり、親切は結局自分のためになるのだ。今日も私は、靴をそろえる。



錦ヶ丘中でも誰かの親切が反射し、人から人へひろがっていくように、気づいたことがあつたら少しの勇気を持って行動してみましょう。

公開授業がありました。

9月12日(木)、9組の作業学習の公開授業がありました。「グリーンタイムに向けて花苗を育てよう」という目標を掲げて、スマイルなどの花の種を小さなポットに植えていく活動でした。とても小さな花の種をピンセットでつまんだりしながら一粒一粒ていねいに植えていました。1時間の活動で300粒ほどの種をポットに植えました。今後水やりなどの世話をしながら、立派な花苗が育つことだと思います。きれいな花がたくさん咲くのがとても楽しみです。

9組の皆さん、おつかさまでした。



◆お知らせです。

○10月16日(水)に開催される「熊本市中体連駅伝大会」に向けて、陸上部員に有志のメンバーを加えた人たちが練習に励んでいます。9月中旬とは



いど夏を思わせる暑さが続く中、ひたむきに走る姿に、この大会におかうそれぞれの強い思いが感じられます。10月の大会でこの努力の成果が発揮されることをとても期待しています。がんばれ！錦ヶ丘中！

○2学期から新しく、ALTの〇〇先生が

着任されました。アメリカのご出身です。

生徒の皆さん、積極的に話しかけて○

〇先生から多くのことを学んでください。

〇〇先生、よろしくお願ひします。



努力の種をまかなければ、
成果の花は咲かない。

「先生のコトバ集」より